



2024年
3月6日
No.A23-11

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2024年2月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) 中東要人講演会

・2月19日(月)、ビシエル・アル=ハサーウネ
ヨルダン首相兼国防相「ヨルダン・日本の外交
樹立70周年」(於：帝国ホテル)



<要旨>

ハサーウネ首相より、現在のヨルダン情勢及び、日・ヨルダン関係について説明がなされた。また、ガザ危機におけるヨルダンの対応や、二国家解決実現へ向けた取り組み等に関して言及があった。質疑応答では、日・ヨルダンの経済関係強化が、ガザ危機解決に与える影響、中東和平プロセスに尽力するヨルダンに日本が果たし得る貢献等についての質問があった。

(2) トップ・ミーティング

・2月27日(火)、垂 秀夫 前駐中華人民共和

国特命全権大使「習近平中国」をどう見るか～
その内政と外交、そして日中関係～(於：オー
クラ東京)



<要旨>

中国の内政動向、特に体制指導者の状況意識と国家運営方針について詳細な分析がなされた。その上で、中国外交の変遷、米中関係、及び、日中関係の現状と今後の課題について説明がなされた。

(3) 中東情勢オンライン講演会

・2月8日(木)、中東情勢オンライン講演会(江
崎 智絵 防衛大学校人文社会科学群准教授・中
東調査会客員研究員「イスラエルの対外政策と
地域情勢」)(Zoom形式)

<要旨>

講師より、イスラエルの外交と軍事力の関係
やイスラエルの対ハマース政策、イスラエルの
秩序観等について説明がなされた。質疑では、

ガザ地区の今後の扱いや、戦闘の長期化がイスラエル財政に及ぼす影響、ヨルダン川西岸情勢の見通し等に関して、多数の質問が出た。



(4) 中東情勢分析発表会

・2月22日(木)、第29回オンライン中東情勢分析発表会 (Zoom形式)



演題：「電源多様化に向けた UAE の取り組み」
(主任研究員 高橋 雅英)

<要旨>

報告者より、UAEの電力課題や、太陽光・原子力の導入状況、天然ガスの輸出動向等について考察した。

演題：「エルドアン政権への再審判——統一地方選挙へ向けた動き」(主任研究員 金子 真夕)

<要旨>

3月31日の統一地方選へ向けた与野党の動き、特にアンカラとイスタンブールの市長選挙を中心に考察した。

・2月28日(水)、日本・トルコ外交関係樹立

百周年記念 防災・減災・復興シンポジウム
「災害からの学びと復興・発展へ向けての日本・トルコ間協力」(日本・トルコ協会、在日トルコ共和国大使館との共催)をZoomと対面のハイブリッド形式で実施した。

<要旨>

小林日本・トルコ協会会長、ギュンゲン・トルコ大使とともに、浅子副理事長が主催者挨拶を行い、災害時の二国間協力が今日の友好関係の礎の一つとなっていると言及した。また、同シンポジウムは、日本とトルコをオンラインで繋ぎ、第1部：災害への備え：防災・減災のための対策、第2部：技術協力の可能性～建設の現場から～、第3部：パネルディスカッション：教訓を未来に繋ぐために～市民防災～の3部構成で実施された。両国の現場での活動経験を踏まえた活発な議論が行われた。



2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- 2024年2月号（2024年3月6日付）
- 1. パレスチナ：イスラエル軍が援助物資の配布を待つ者多数を殺傷
- 2. カタル：UNRWA への支援継続を強調
- 3. イラン：南西部・南部でガスパイプライン損傷事件が発生
- 4. アルジェリア：パイプライン経由での初のドイツ向けガス輸出
- 5. トルコ：米国上院が F-16 売却禁止法案否決で引き渡し決定へ
- 6. アフガニスタン：ドーハ合意から4年
- 7. サウジアラビア：「建国300年」へのカウントダウン

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東かわら版の発行

- No.169「トルコ：エルカン中央銀行総裁が辞任を表明」（主任研究員 金子真夕、2月6日）
- No.170「シリア・イラク：アメリカ軍が「報復」攻撃を実施」（協力研究員 高岡豊、2月9日）
- No.171「イスラエル・パレスチナ：再燃したガザ戦争#16——ラファフ攻撃と人質解放」（協力研究員 中島勇、2月13日）
- No.172「GCC：韓国・国防相の UAE、サウジアラビア、カタル訪問」（主任研究員 高橋雅英、2月13日）
- No.173「イラン：アブドゥルラヒヤーン外相がレバノン、シリア、カタルを歴訪」（研究主幹 青木健太、2月15日）
- No.174「アフガニスタン：国連主催会合がターリバーン不在で終幕」（研究主幹 青木健太、2月20日）
- No.175「シリア・ヨルダン・イラク・レバノン：麻薬対策に関する四カ国内相会合開催」（協

力研究員 高岡豊、2月20日）

No.176「トルコ：エルドアン大統領のエジプト公式訪問で雪解けの兆し」（主任研究員 金子真夕、2月20日）

No.177「イスラエル・パレスチナ：再燃したガザ戦争#17——懸念される社会の秩序崩壊の兆し」（協力研究員 中島勇、2月27日）

No.178「パレスチナ：PAのアシュティヤー内閣が総辞職」（協力研究員 高岡豊、2月27日）
(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(3) 中東分析レポートの発行【会員限定】

- No.11「JCPOA のゆくえ#3：「イランの脅威」とはなにか」（2月7日）

※内容はホームページをご参照ください

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/)

(4) その他の活動

- 2月21日（水）、イランから訪日中のヘイランニア中東戦略研究センター・ペルシャ湾岸地域研究部長が来訪し、浅子副理事長及び研究員らと意見交換した。



3. その他（要人往来）

- 16日、岸田総理は、ヨルダンのハサーウネ首相と会談した。
- 19日、上川外相は、ヨルダンのハサーウネ首

相を表敬した。

- ・27日、辻外務副大臣は、パレスチナ自治政府のシュタイエ首相を表敬した。
- ・28日、辻外務副大臣は、パレスチナ自治政府のアッバース大統領を表敬した。
- ・28日、辻外務副大臣は、イスラエルのカッツ外相を表敬した。
- ・28日、辻外務副大臣は、イスラエルのツアヒ・ハネグビ NSC 議長兼国家安全保障顧問を表敬した。

4. 3月の予定

- ・3月11日(月)、14:00~15:30、於：ホテル・グランドアーク半蔵門3階「華の間」、中東情勢シンポジウム(上村 司 日本政府代表/中東和平担当特使、森 まり子 跡見学園女子大学文学部教授/中東調査会客員研究員、鈴木啓之 東京大学大学院総合文化研究科特任准教授、渡部 恒雄 笹川平和財団上席研究員、高尾 賢一郎 中東調査会研究主幹、青木 健太 中東調査会研究主幹「中東はどこへ向かうのかーガザ危機がもたらすものは何か」)
- ・3月13日(水)、8:30~10:00、於：オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング(後藤 謙次 ジャーナリスト「混迷する日本政治の行方」) ***法人会員限定**

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

5. 出版物刊行のご案内

- ・3月1日、『別冊・中東研究：中東各国動向(2023)』(定価：本体2000円+税)が発行されます。1年間の中東各国動向をまとめた「日誌データ」、重要なニュースをピックアップして解説した「かわら版」、会員限定レポート「イスラーム過激派モニター」、及び、特別書き下ろし「中東ユーラシアにおける地域秩序変容と連結性」を所収しております。是非お手に取ってご覧ください。

※通常の『中東研究』とは異なり、会員向け配布はございません。

(<https://www.meij.or.jp/publication/chutoukenkyu>)

*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。